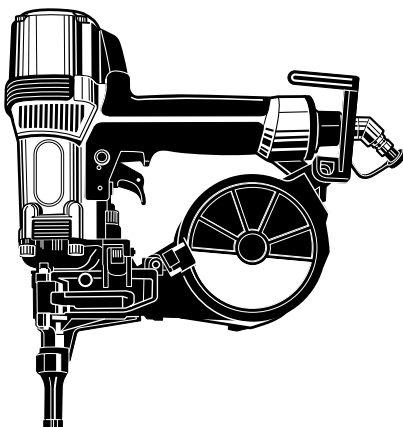


マックス釘打機スーパーネイラ

HN-25C

取扱説明書

プロ用



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ピン装填の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- 本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

*便利メモ

お名前		商品名	HN-25C
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ ()	—

このたびは、マックス釘打機スーパーネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

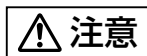
■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。




警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



■絵表示について



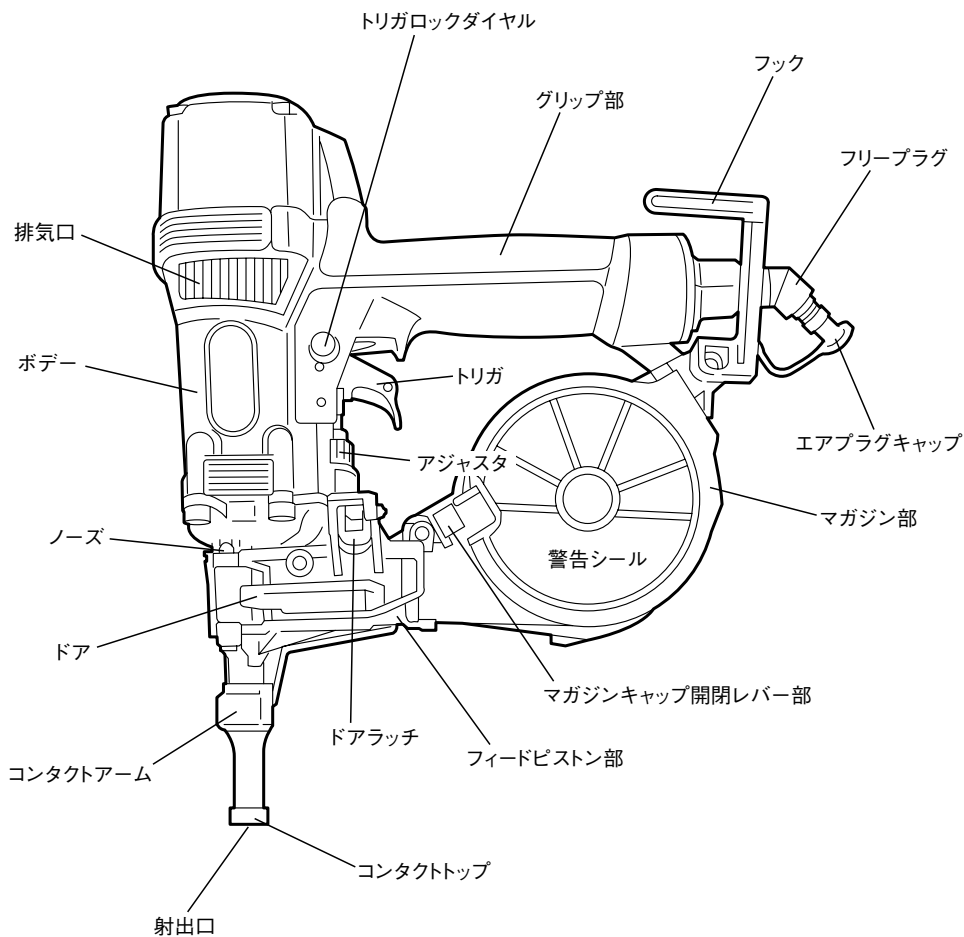
禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目 次

1. 各部の名称	1
2.  安全作業のために	2
3.  安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	12
5. 用途とピン選定基準	14
6. 使用方法	15
7. 配管についての注意	19
8. エアホースの接続	20
9. ピンづまりの直し方	21
10. 性能を維持するために	22
11. カラ打ち時の確認事項	24
12. 保証、アフターサービスについて	25
全国販売拠点、サービス拠点一覧	

1 各部の名称



2 ▲安全作業のために

本機は、ピンで薄鋼板をコンクリートに止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

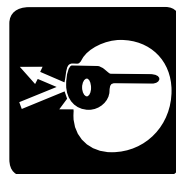
作業前

▲ 警告

①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メ

ガネを着用する。

釘打作業をする時、打ち損じのピンがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。



②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

②



③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

③

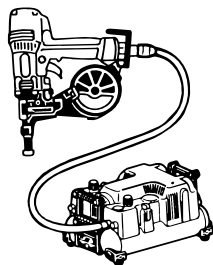


2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

④ 本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機は使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。本機使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必要です。専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。



⑤ エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。
4. トリガをロック（引けないように固定）できるか。

（11ページ参照）

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⑥ エアホース接続の時には必ず厳守する。

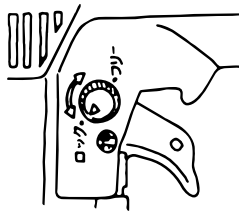
エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロック（引けないよう固定）する。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。

⑤



⑥



▲警告

⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはピンを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。

正常に作動しない場合は使用しない。

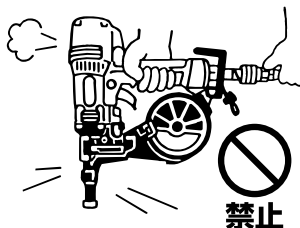
使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ピンを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。(11ページ参照)

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

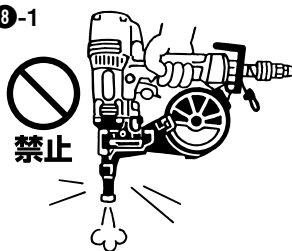
1. トリガを引いただけで、作動音がする。
2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。

異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

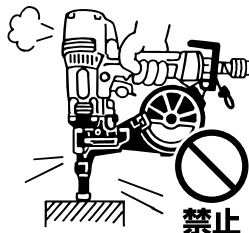
⑦



⑧-1



⑧-2



2 ▲安全作業のために

▲警告

⑨指定ピンを必ず使用する。

指定されたプラシート連結ピンと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のピンをご使用ください。(13ページ参照)

⑩作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。



作業中

▲警告

①使用空気圧を必ず守る。

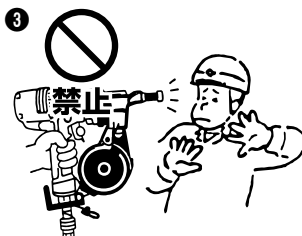
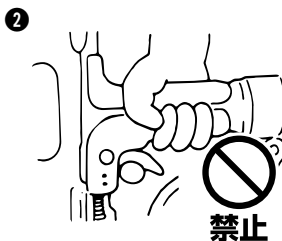
本機の使用空気圧範囲は1.2～2.3MPa（約12～23kgf/cm²）です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。2.3MPa（約23kgf/cm²）を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

②打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ピンを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

③射出口を絶対に人体に向けない。

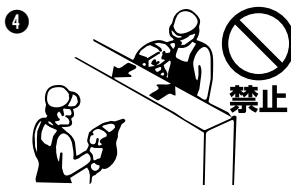
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたピンが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



▲警告

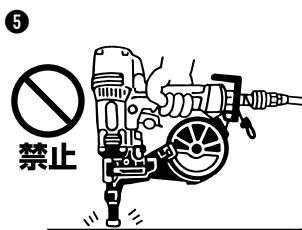
④ 向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたピンが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。



⑤ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったピンや木の節などに当たった場合ピンがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。



⑥ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとピン打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。



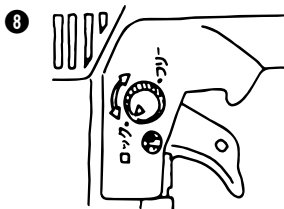
⑦ 移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際はトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



⑧ フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



2 ▲安全作業のために

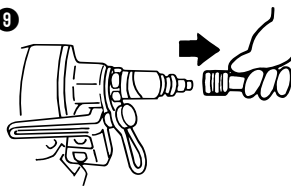
▲警告

- ⑨作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

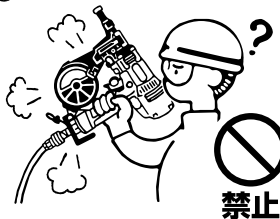
作業中のピン装填、調整及びピンづまりを直すときは誤ってピンを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ⑩異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決まてご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



⑩



作業後

▲警告

- ①作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

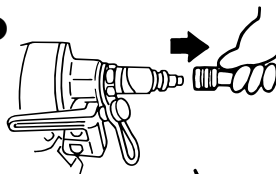
- ②作業終了時には必ずピンを抜き取る。

ピンをマガジン内に残しておくと、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のピンを抜きとってください。

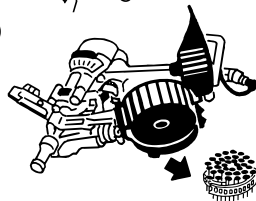
- ③本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

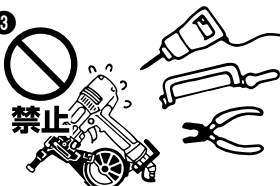
①



②



③

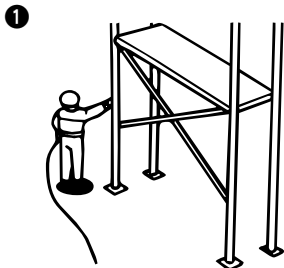


屋外作業について

警告

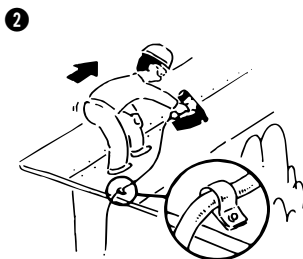
① 足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。



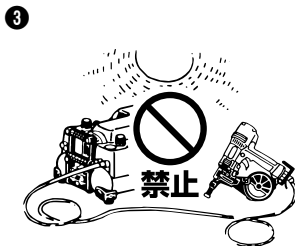
② エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれないように注意してください。



③ 直射日光をさける。

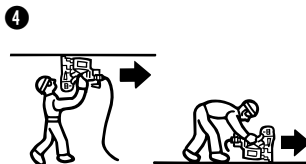
本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。



打ち方

④ 水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



2 ▲ 安全作業のために

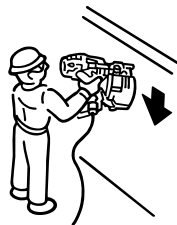
▲ 警告

⑤ 垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

⑤



⑥ 傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

⑥

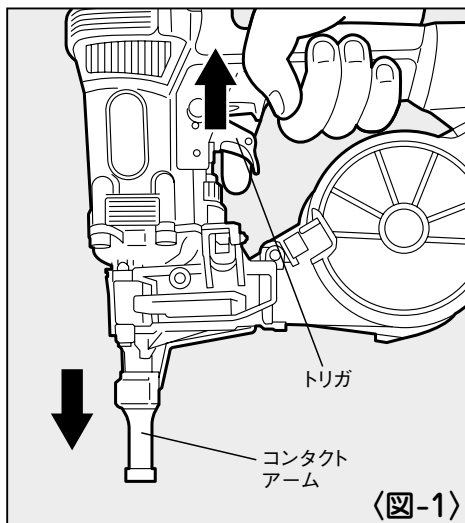


釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではピンは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもピンは発射しません。コンタクトアームを対象物に当て、トリガを引くという動作が重なってはじめてピンは発射されます。なお、トリガを先に引き、コンタクトアームを打込対象物に当ててもピンは発射されません。

〈図-1〉



▲ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ピンを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

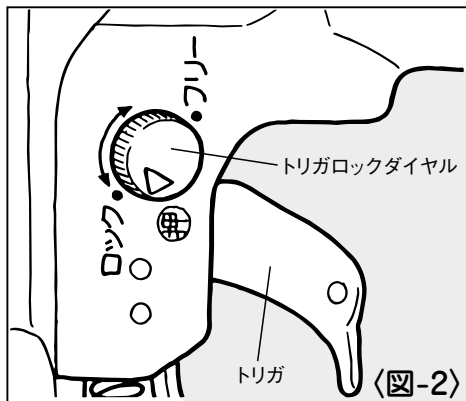
- 1.トリガを引いただけで、作動音がする。
- 2.コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がする。

異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

3 ▲ 安全装置について

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができる装置です。 〈図-2〉



ピンを打っているとき以外はトリガロックダイヤルを押し回し、ロックの位置にセットしエアホースをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックダイヤルを押し回しフリーの位置にセットしてください。

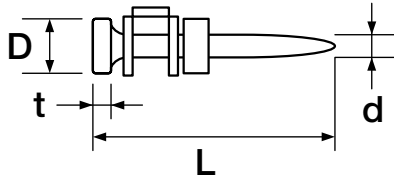
4 仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機 スーパーネイラ
商 品 記 号	HN-25C
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
ピン送り機構	フィードピストンバネ送り方式
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式
寸 法	(H) 306 × (W) 113 × (L) 306 mm
質 量	1.9kg
ピン装填数	100本
使用空気圧範囲	1.2~2.3MPa (約12~23kgf/cm ²)
使用エアコンプレッサ	マックス スーパーエア・コンプレッサシリーズ
使用エアホース	マックス スーパーエア・ホースシリーズ (ホース内径 5mm以上)
使用オイル	タービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213)
安全装置	メカニカル方式、トリガロック装置
装 備 品	コンタクトトップ 2ヶ
付 属 品	保護メガネ、ジェットオイル (油入)、取扱説明書

⚠ 注意

●打込対象物が硬い場合や使用空気が低いと適正な打込み状態を得られない場合（釘浮き等）があります。

〈使用ピン〉



先端形状：砲弾ポイント

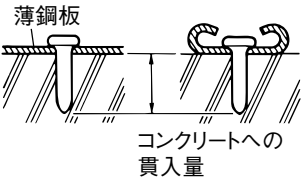
薄鋼板用焼入コンクリートピン

商品記号	L (mm)	D (mm)	t (mm)	d (mm)
CP-C619V6	20	φ 6.3	1.2	φ 2.6
CP-C622V6	23	φ 6.3	1.2	φ 2.6
CP-C624V6	25	φ 6.3	1.2	φ 2.6
CP-C618W0	19	φ 6.3	1.2	φ 3.0
※ CP-C619V5	19	φ 6.3	1.2	φ 2.5
※ CP-C622V5	22	φ 6.3	1.2	φ 2.5
※ CP-C625V5	25	φ 6.3	1.2	φ 2.5
※ CP-C619W0	19	φ 6.3	1.2	φ 3.0

※印の商品は在庫の有無を販売店にご確認ください。

5 用途とピン選定基準

本機の用途には次のようなものがありますが、打込対象部材に合わせたピンの選定と足長さの選定をしてご使用ください。

用途	種類	サイズ(足長さ)
薄鋼板のコンクリートへの取付け 例：間仕切りランナー止め <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">⚠ 注意</p> <p>●ご使用の時は部材の状況や施工現場の条件を考慮し、施工基準書に準じてお使いください。</p> </div>	プラシットコイルピン	<div style="text-align: center;">  <p>薄鋼板</p> <p>コンクリートへの貫入量</p> </div> <p>コンクリートへの貫入量が約15~20mm程度になる様に選定してください。</p>

6 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

【ピンの装填方法】

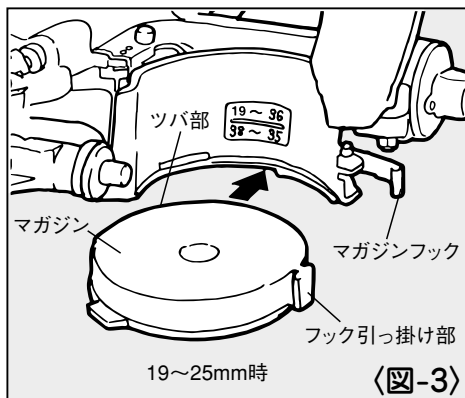
⚠ 警告

- ピンを装填するときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

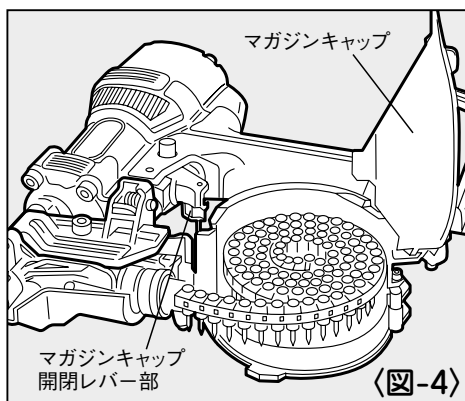
手順

⚠ 注意

- マガジンがはずれた際は、図の向きに取り付けてください。〈図-3〉

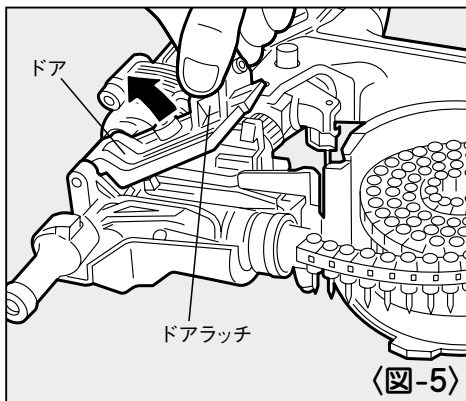


- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②マガジンキャップ開閉レバー部を押し、マガジンキャップを開いた状態にしてピン（又はネイル）を入れて連結帯の先端を引き出しておいてください。〈図-4〉



- ③ ドアとドアラッチに指をかけて、ドアラッチをつまんで開けてください。

〈図-5〉

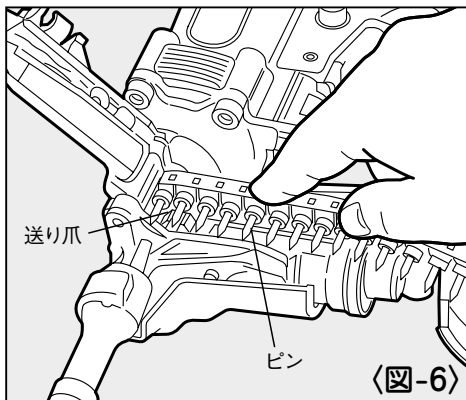


- ④ ピンをマガジンに入れ、ピンを引き出し、送り爪の溝にセットします。

〈図-6〉

△ 注意

- 先頭のピンの全体が、送り爪の溝（ノーズ内）にきちんと入ったことを確認してください。



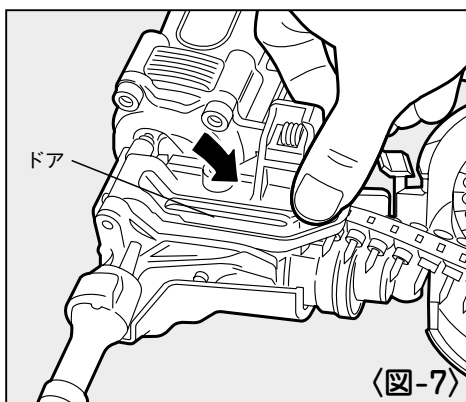
- ⑤ ドアを指で押し、閉めてください。

〈図-7〉

△ 注意

- ドアラッチがカチッと音がするまで強く押してください。

- ⑥ マガジンキャップを開けてください。
- ⑦ これで、エアプラグにエアチャックを接続すれば打込準備完了です。



【打ち方】

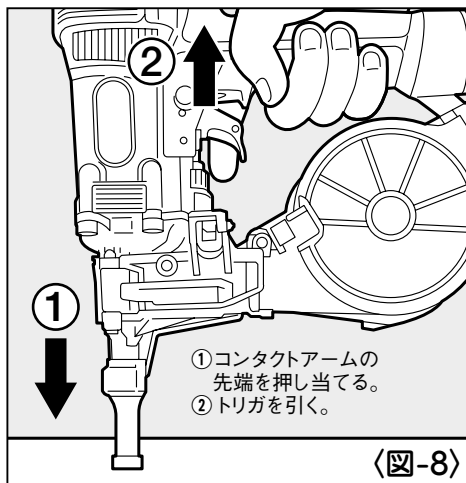
手順

- ①ピンを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当ててからトリガを引きます。 〈図-8〉

警告

- 絶対に本機の上に顔を近づけない。
打った時の機械の反動で思わぬケガをすることがあります。

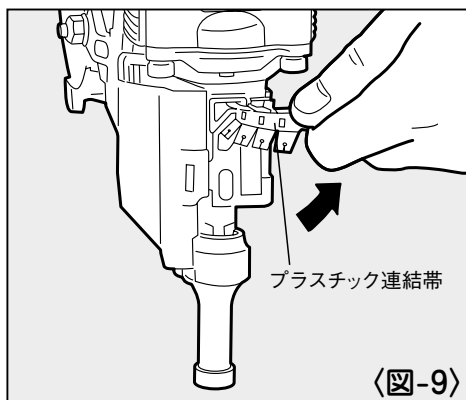
- ②トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当ててもピンは発射されませんので、トリガをもどし①の動作を繰り返し行ってください。



【プラスチック連結帯の切り方】

プラスチック連結ピンを打っていますと、ノーズよりピンのプラスチック連結帯がでてきますので→の方向に引きちぎってください。

〈図-9〉



【コンタクトトップの使い方】

⚠ 警告

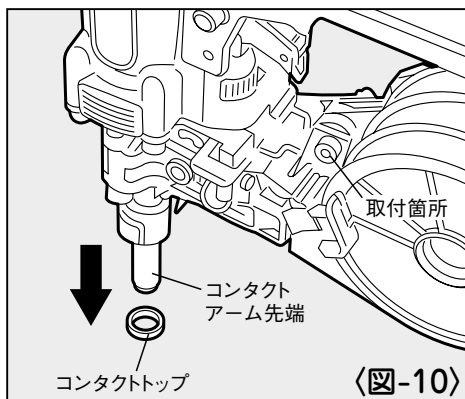
- コンタクトトップ着脱の際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

薄鋼板等のすべりやすい部材に打つ際は、コンタクトトップを取り付けてください。

取付方法

コンタクトアーム先端の凹部にコンタクトトップ内側の凸部がはまり込むまで押し込みます。 〈図-10〉

※コンタクトトップは出荷時アームカバーとコンタクトアーム先端に取り付けてあります。



7 配管についての注意

警告

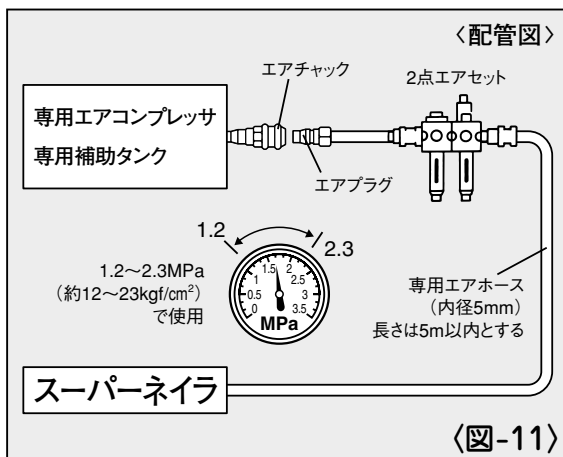
●本機使用の際は、スーパーネイラ専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機、専用エアコンプレッサ、専用エアホース共、エアプラグ、エアチャックが専用のものとなっており市販の物とは互換性がないので、他の機器との接続はできない仕様になっております。改造・加工等して他の機器を使える様に絶対にしないでください。

①動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。

②接続するエアホースもマックス専用エアホースを使用してください。

〈図-11〉



8

エアホースの接続

⚠ 警告

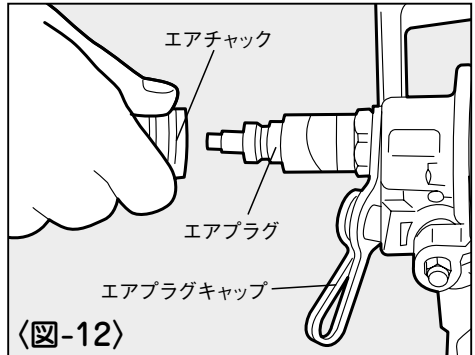
●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- 1.トリガをロックする。
- 2.コンタクトアームに触れない。
- 3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
- 4.射出口を人体に向けない。

手順

- ①トリガをロックします。
- ②エアプラグからエアプラグキャップをはずします。
- ③エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。 〈図-12〉



⚠ 警告

- 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

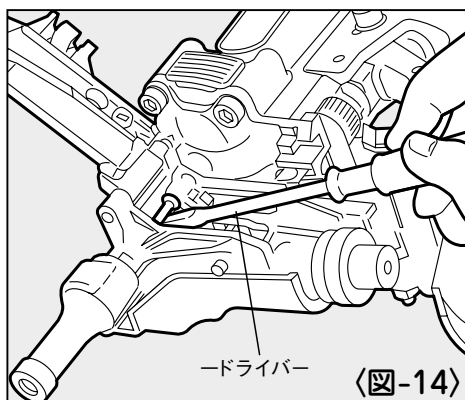
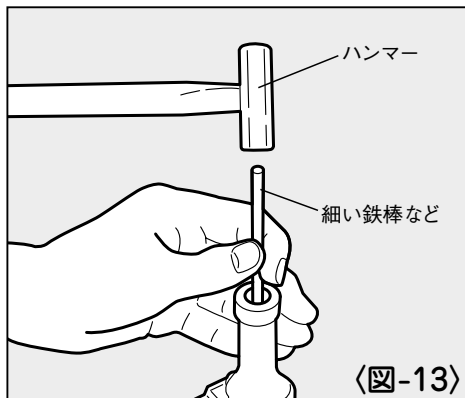
9 ピンづまりの直し方

警告

- ピンづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ピンをマガジン内より抜き取ります。
- ③ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。 〈図-13〉
- ④ノーズまたはコンタクトアーム内部につまったピンを細い鉄棒やードライバーで取り除きます。
- ⑤ピンを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。 〈図-14〉



10 性能を維持するために

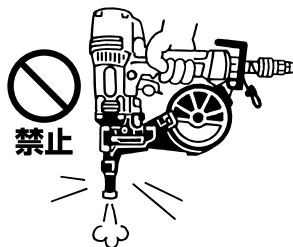
① 本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



② カラ打ちをしない

ピンを装填しないでカラ打ちをくり返し行くと各部の耐久性が低下しますので教えてください。



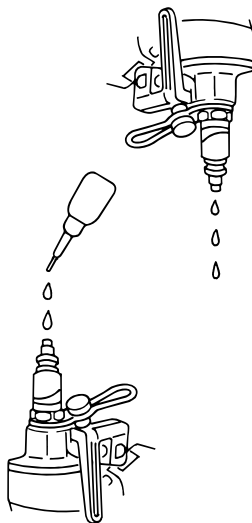
③ エア圧力を調整し、使用する

打込み対象物に合わせ必ずエア圧力を調整し、使用してください。対象物に対し、圧力が高すぎるまま使用しますとバンパやドライバ等の耐久性が低下します。



④ 本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



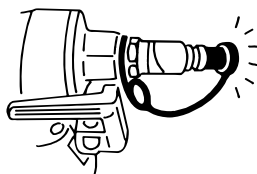
⑤ 指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より5~6滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。

⑥エアプラグキャップの使用方法

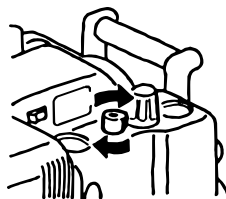
本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。

※エアプラグキャップは作業終了後、本機を逆さにして十分に水抜きをしてから装着してください。



⑦エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑧定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検は本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

11 カラ打ち時の確認事項

●正規の打込作業をしても、カラ打ちになる。

作業中に、本機は作動するが、ピンが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

- ①ピンが送り爪にきちんとセットされているか。
- ②ピンがプラシートより脱落していないか。
※この場合は、空のプラシートを切断してピンを再セットしてください。
- ③送り爪とフィードピストンが作動しているかどうか。
※作動していない場合は、エアプラグから5～6滴注油してください。
- ④ピンがマガジン内でからまっていないか。

上記①②③④を行ってもカラ打ちが直らない場合には、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じて点検・修理に出してください。

12 保証、アフターサービス、補修用性能部品について

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋北区平安2-4-87	TEL(052)918-8619(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2035(代)
京都支店	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町195	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-0061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1873(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。